商 品 仕 様 書

1. 品番･品名一覧

品　番	品　　名
WT3031W	コスモシリーズ　埋込スイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(ホワイト)
WT3031G	コスモシリーズ　埋込スイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(利休色)
WT3031F	コスモシリーズ　埋込スイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(ベージュ)
WT3032W	コスモシリーズ　埋込ダブルスイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(ホワイト)
WT3032G	コスモシリーズ　埋込ダブルスイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(利休色)
WT3032F	コスモシリーズ　埋込ダブルスイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(ベージュ)
WT3033W	コスモシリーズ　埋込トリプルスイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(ホワイト)
WT3033G	コスモシリーズ　埋込トリプルスイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(利休色)
WT3033F	コスモシリーズ　埋込トリプルスイッチ用ハンドル(表示･ネーム付)(ベージュ)

2. 品質保証

2－1 形状および材料、色彩　　商品仕様図による。

2－2 性　　能

･試験方法は、JIS C 8306(配線器具の試験方法)による。
･試験場所は、常温(5 ℃～35 ℃)、常湿 (相対湿度45 %～85 %)状態とする。

耐　熱　性	80 ℃±3 ℃　　7 時間

3. 環境条件

3－1 使用場所　　･住宅、事務所などの屋内で使用してください。
･過酷な取扱いを受ける作業場、水気のある屋側、屋外などでは使用しないでください。

3－2 使用周囲温度　　－10 ℃ ～ ＋40 ℃

4. 使用条件

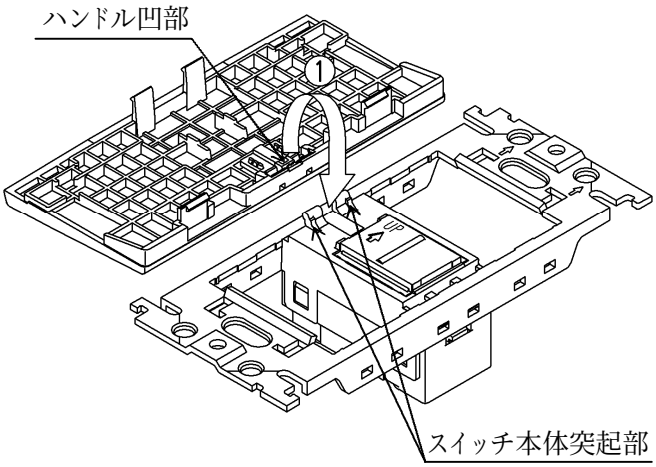
4－1 適用スイッチ･･･WT5051など コスモシリーズ 埋込スイッチ系列

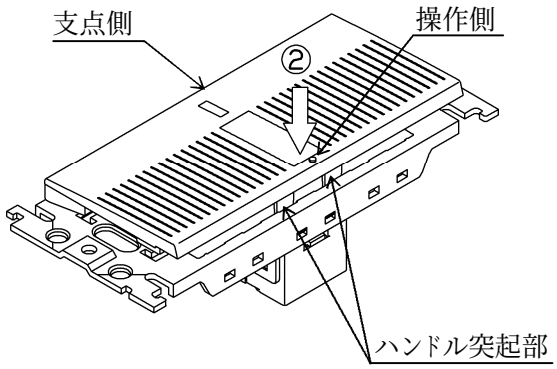
(注) ほたる、パイロット･ほたる、ひかるスイッチ系列には、表示付ハンドル系列をご使用ください。
表示付以外のハンドルを使用すると、ランプ表示が見えなくなります。

4―2 ハンドルの取付方

① ハンドルの凹部をスイッチ本体の突起部に押込み、矢印の様に回転させる。

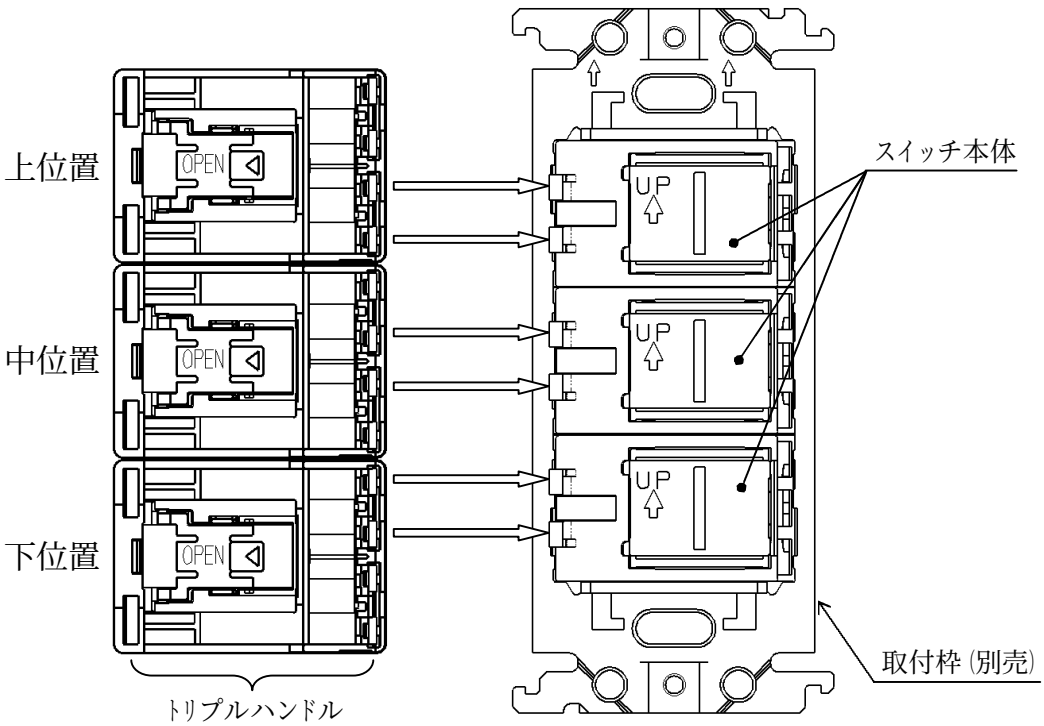
② ハンドルの突起部（表面より見て右側）を、スイッチ本体の溝部へ押し込む。





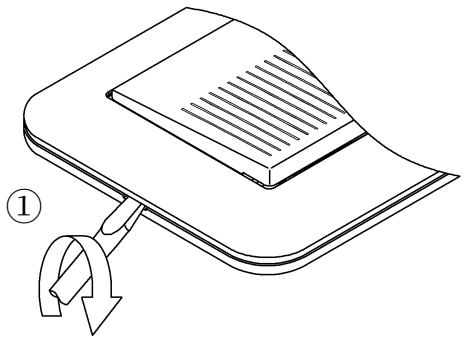
（注1）ハンドルの操作側（表面より見て右側）から取付けると、ハンドルを破損する恐れがありますので、ご注意ください。

（注2）トリプルハンドルは、上・中・下位置で取付け箇所が異なります。
ご使用の際は取付位置をご確認のうえ（下図参照）、取付けてください。

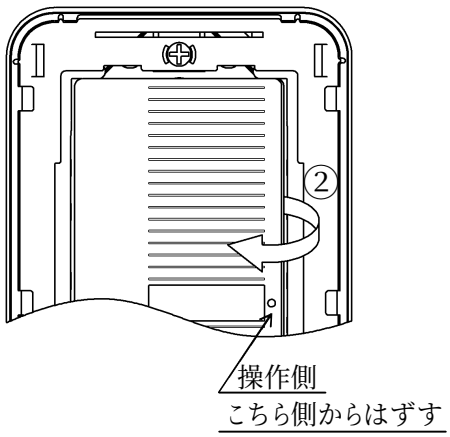


品番	WT3031W 系列9品種	品名	コスモシリーズ 埋込スイッチ用 ハンドル（表示・ネーム付）（ホワイト） 系列9品種	改	

① プレートはずし溝にマイナスドライバー（刃幅6 mm以下）を引っかけ、化粧プレートをはずしてください。



② ハンドルの右側面に指を引っかけてはずしてください。

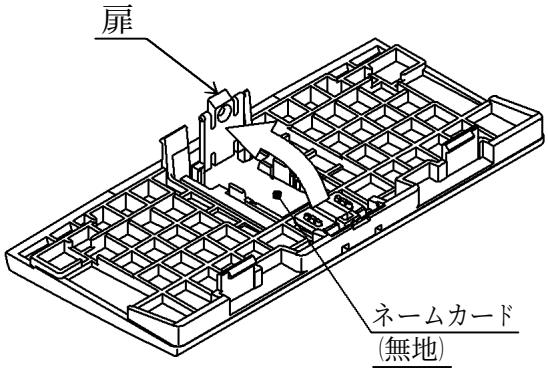


（注1）ハンドルを支点側（表面より見て左側）からはずさないでください。
器具が破損する恐れがあります。

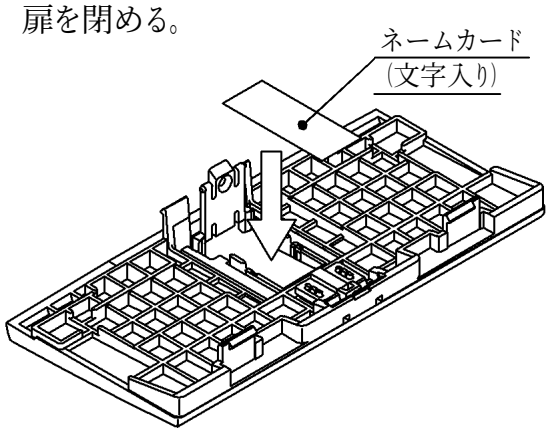
（注2）化粧プレートを取付けたままでハンドルをはずさないでください。
器具が破損する恐れがあります。

4－4 ネームカードの取り替え方

① 扉を開けて、無地のネームカードを取り出す。



② 文字入りのネームカード（別売）を入れて扉を閉める。



（注）文字入りネームカード（別売）は、WVC8321W等です。
これ以外の文字が必要な場合は、あらかじめ添付されている無地のネームカードに記入して、ご使用ください。

品番	WT3031W 系列9品種	品名	コスモシリーズ 埋込スイッチ用 ハンドル（表示・ネーム付）（ホワイト） 系列9品種	改	

5. 使用上の注意事項

(1) 器具の汚れは中性洗剤を浸した布でふき取ってください。シンナーでふいたり殺虫剤をかけますと、器具表面の光沢が損なわれますのでご注意ください。

(2) ハンドル表面の保護フィルムは、施工後はがしてください。
長期間はがさずに放置されますと、ハンドルにのり残りする恐れがあります。

6. 安全確保のための使用上の禁止事項

下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。

・ 過酷な取扱いを受ける作業場、水気のある屋側、屋外では使用しないでください。
故障の原因になります。

7. 品質保証について

7－1 保証期間

・本品の品質保証期間は、商品お買い上げ日（お引き渡し日）より1 年間です。

7－2 保証内容

・仕様書、本体ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

7－3 保証の免責事項

・保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

(1) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。

(2) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。

(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。

(4) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。

(5) 施工上の不備に起因する故障や不具合。

(6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷。